



宮崎会長テーマ

『楽しくやろう・ロータリー』(Let's have fun-Rotary)

2024-2025 RI 会長:ステファニー・アーチック 2570 地区ガバナー五十幡和彦 会長:宮崎正文 幹事:田中快枝

19号 3361回例会 2024年11月14(木)

<ビジターゲスト>

埼玉県議会議員 松本義明様

米山功労者

- 第1回 一柳達朗会員・金井祐一会員
後藤健会員
第2回 宮崎正文会員
第4回 水村雅啓会員

会長の時間

宮崎正文会長

今日は、ロータリー財団についてお話しさせていただきます。皆さんも知っていると思いますが、自分も知ったかぶりしてはいないかと、心配でしたので、もう一度勉強しました。



国際ロータリーのロータリー財団は、1917年に基金として発足 1928年国際大会でロータリー財団と名付けられたそうです。

その時、1917年に米国ジョージア州アトランタで開催された国際大会において「アーチC・クランク」が提案したことに始まったそうです。よって「アーチC・クランク」が、ロータリー財団の父と呼ばれています。そして、1931年に信託組織になり、1983年に米国イリノイ州の法令化の下に、非営利財団法人となりました。ロータリー財団は、財団の法人設立定款と細則に従って、ロータリー財団管理委員会が慈善的、教育的目的のためにのみ、運営するものであります。

【定義】

ロータリー財団にも定義というものがあります。ロータリー財団は、ロータリークラブ及び地区を通じて実施される、承認さ

れた人道的及び教育的活動の支援のために寄付を受け付け、資金を分配する非営利財団である、とのことです。難しい言葉です。ようは、寄付を沢山くださいとのことです。

【使命】

財団には、使命というのもあります。ひとつは、国際ロータリーとしての使命、読むと他者に奉仕し、高潔さを促進し、事業と専門職務及び地域社会のリーダーの間の親睦を通じて、世界理解、親善、平和を促進するとあります。

また、ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を構築できるように支援することだそうです。ようするに、国際ロータリーは促進(早くはかどるように促す)し、ロータリー財団は構築(物事を組み立てる、作り上げる)するということなので、作り上げるのがロータリー財団という事になります。

【財団月間】

その後、1964-65年度のR I理事会と管理委員会において、毎年11月15日を含む、1週間をロータリー財団週間、1983-84年度に11月をロータリー財団月間と定め、今日に至っていいます。

【寄付の使われ方】

ロータリー財団の寄付の使われ方ですが、年次基金・恒久基金とポリオプラスというものがあります。

・年次基金は、3年間、資金として運用し、その運用益は財団の運営費に使われます。元金は3年後、47.5%が地区財団活動資金(DDF)として戻され、47.5%が国際財団

運営費(WF)として活用されます。このことが、シェアシステムと呼ばれるそうです。
 ・恒久基金と元金を使わない、運用益のみを地区と財団で使うものだそうです。
 ・ポリオプラスはやロータリー平和フェローシップ及びロータリーの重点分野等に対する寄付に指定した寄付金は、指定されたポリオ根絶のためやフェローシップ支援のみ全額が使われるそうです。

【寄付金を使う活動】

寄付金の使い方は、「地区補助金」「グローバル補助金」「ロータリー平和センタープログラム」「ポリオ・プラス・プログラム」と「災害救援基金」の5つがあります。
 ・地区補助金は、皆さんご存じの方が多いたと思います。地区に一括して授与される補助金です。今年度も入間クラブでは、上限の1200ドルをいただきました。これは、入間フードバンクの子ども支援のために寄付される予定です。ただし、毎年3月に行われるロータリー財団補助金管理セミナーに、誰か出席しないとだめなので、来年3月あたりに行われるセミナーには、担当の方の出席、必ずお願いします。

・次に、グローバル補助金ですが、これは2か国以上のクラブと地区が7つの重点分野に関するプロジェクトを共同で提唱し、立案して実施する国際プロジェクトに授与されるものです。

これは、大変難しい補助金ですが、関谷年度にこれを計画し成し遂げたことは素晴らしいと思っています。その時、幹事でしたので、関谷さんが英語で申請書類を作っているのを見て、凄く大変なことと感じ入りました。

・ロータリー平和センタープログラムとは、あまり聞いたことのなかった補助金ですが、世界7カ所の8大学が関係する、紛争解決と平和に関する国際問題について研究するための、フェローシップのことだそうです。

・ポリオ・プラス・プログラムは、字のごとく、ポリオはもちろんのこと、ハシカ・ジフテリア・結核・百日咳・破傷風の5つをプラスにして同時追放を目的としています。色々ロータリー財団のことを話しましたが、まだまだ分からないことばかりです。分かったことは、沢山の寄付を募っていることです。皆さんこれからも寄付をお願いします。

<幹事報告> 田中快枝幹事

- ・第4回会長幹事会報告
- ・マイロータリーへの登録のお願い
- ・次年度ガバナー補佐 所沢西 高橋和夫様に決定
- ・第3グループIM 2025.2.18 ミューズ
- ・11/21 65周年記念事業式典 pleats・i 紺のブレザー 新調したクラブタイ着用
- ・11/23・24 地区大会
- ・11/28 地区大会振替のため例会休会

65周年記念実行委員会 忽滑谷明委員長

来週の6時半よりpleats. iでの式典に新しいクラブネクタイ着用で大勢の参加宜しくお願い致します。

<出席報告> 宮部圭太郎委員

会員数	出席数	出席率	修正率
38名	21名	60.0%	-----

事前欠席連絡8名

<ニコニコBOX> 新井格副SAA

🌸 宮崎正文君, 晝間和弘君, 田中快枝君, 新井格君, 一柳達朗君, 宇野健一君, 津藤淳也君

松本様ようこそ入間RCへ 卓話楽しみにしております宜しくお願い致します。

🌸 友野政彦君

松本議員ようこそお出でいただきました。お母様にも大変お世話になっています。

🌸 滝沢文夫君

運転免許更新しました。優良で5年間有効となります。今回は高齢者講習が必要となるようです。

🌸 馬路宏樹君

早退します。

本日¥10,000 累計¥353,000

◎松本義明様ご紹介 宮崎正文会長

1987年埼玉県入間市で生まれ、早稲田大学人間科学部卒業後、2012年早稲田大学大学院人間科学研究科修士号取得。日本社会事業大学にて精神保健福祉士コース受講した後、居宅介護支援・訪問介護事業所「松本居宅介護サービス」代表取締役を務める。入間市議会議員として3期10年を経て2023年埼玉県議会議員初当選し現在1期目です。

■■■講師卓話■■■

【政策と世論～県議会議員1期生の挑戦】 埼玉県議会議員 松本義明様

私がなぜ政治家を目指したのか自己紹介動画をもとにお伝えしてから卓話に入ります。

認知症の祖父の介護経験や福祉施設でのアルバイト経験から「その人らしい生活を政治の力でサポートしたい!」との思いから市議会議員に25歳でなり、その後より多くの方の生活を支えていくソーシャルインクルージョンの社会を目指して県議会議員になりました。

県議会議員として政策を進めていくにあたり世論とどう向き合うべきかについてこの1年半の間で、関わらせていただいた「虐待禁止条例」と「子ども・若者基本条例」の2つの条例制定プロセスを比較しながらご説明します。

はじめに「虐待禁止条例」についてです。この条例はご存知の通り「お留守番禁止条例」と言われてしまい、全国的に反対運動が起こり議論があった件についてですが、そもそも、この条例を制定しようとした背景には、既にある条例では今だに虐待がなくなるという現状があるからです。しかしながらマスメディアはじめ、世論の皆様には子育て世代の生活が理解できていないとのご批判を多くいただき結果的には取り下げとなってしまいました。各種関係団体や当事者など多くの方々との合意形成をいかに進めていき、そして世論がどう形成されるのか考えることが多くありました。

そして次の条例は

「子ども・若者基本条例」についてです。この条例づくりにおいては、虐待禁止条例の際の反省を活かして条例制定なプロセスでは、パブリックコメントの公開についてのルール設定や各種団体や各地域の子育て団体に意見聴取を徹底的に行いました。



多くの方々との事前の合意形成をいかに進めていくかに多くの時間を費やしました。結果としてマスメディアでの反対運動等はおきず制定することができました。

どちらの条例も目指しているのは子どもや若者が自らの人生を主体的に選び取るために必要な支援を、県全体で提供することのできる「子どもまんなか社会」を目指していましたが結果大きく異なりました。条例制定における世論との向き合い方に正解はないかも知れませんが、政策を進めるためには世論を意識した、取り組みが重要であることを身をもって感じました。

今後も世論とどう向き合いながら政策を進めていくのか、もがきながらも行動していき、政治家として成長して参ります。

本日はこのような機会をいただきありがとうございました。



■回覧、配布物

- ① 地区大会のご案内
- ② 地区会計規定等について
- ③ ロータリー財団月間リソースのご案内
- ④ 2024年11月からの襟章について
- ⑤ 12/5 インフルエンザ予防接種お知らせ
- ⑥ プログラム 11, 12月
- ⑦ 地区大会2日目出欠表
- ⑧ 他ロータリークラブ週報&お知らせ
- ⑨ 週報 18号

発行 入間ロータリークラブ

■事務所：〒358-0005 入間市宮前町1-10 繁田醤油(株)内 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788
■Email：iruma-rc@jupiter.plala.or.jp
■例会場：丸広百貨店入間店6Fバンケットホール Tel. 04-2963-1111
■例会日：木曜日 12:30~13:30 ■会報委員長：吉田勉

